

令和5年度 健康こども部運営方針

部局名 : 健康こども部

部局長名 : 藤原 弥栄

基本方針（政策目標）

少子化の進展や多様化する子育てを取り巻く課題や環境に対応するため、子育て世帯への経済的支援や相談体制、安心して子どもを預けることのできるサービスなど、各種子育て支援策の充実を図り、子どもを安心して生み育てやすい環境づくりを推進します。

また、「健康づくり推進条例」の基本理念にもとづき、「未病予防対策先進都市」をめざして、環境づくりや気運の醸成を図り、市民が主体的に食育や健康づくりに取り組み、健康寿命の延伸と生活の質（QOL）の向上に向け、官民連携・市民共創により、以下の事業に取り組みます。

- ① 利便性の高い駅前商業施設内において、新たな子育て支援拠点となる民間の子育て支援センターを開設し、おやこ広場と一時預かり事業を実施することで、子育て支援の充実と子育て世帯の定住促進を図ります。
- ② 妊娠から出産・育児まで切れ目なくサポートする便利な子育て応援アプリの導入や子育てポータルサイトの充実など、子ども子育て支援に関するデジタル化を推進します。
- ③ 新たな子育て支援施策などの立案や第3期いずみおおつ子ども未来プランの策定に向け、子育て世帯を対象に「ニーズ調査」を実施します。
- ④ 市独自事業として、7か月児がいる全家庭を対象に、専門職による家庭訪問を行う相談支援と育児用品等を購入できる5万円相当のポイントを支給することにより、経済的な負担軽減と子育て支援の充実を図ります。
- ⑤ 独自の精米方法により高い栄養価を残したお米を毎月最大10kg、妊婦へ提供する「マタニティ応援プロジェクト」を実施し、食による妊婦の健康づくりを応援します。

- ⑥ 少子化の進展にもかかわらず増加する1歳児の保育ニーズに対応するため、待機児童解消施策として、小規模保育事業を実施し、保育の必要性のある方に対し、適正な受け皿の整備を進めるとともに、新たな保育人材確保対策を実施します。
- ⑦ 公立保育所、認定こども園の給食に使用する米、味噌、野菜のオーガニック化を進めるとともに、独自の精米方法により高い栄養価を残したお米を提供し、子どもたちの食育や健康な体づくりにつなげます。
- ⑧ 「健康づくり推進条例」をあらゆる機会において周知・啓発し、シンポジウムを開催するなど、市民の気運醸成を図ります。
- ⑨ 「健康づくりのスタートは、まずは自分の体を知ることから！」をコンセプトに健康状態が「見える化」できるよう、イベントや健康教室、「おでかけ保健室(出前講座)」「健康チェック Day」などを関係機関等と連携を強化し実施します。また、令和5年度実装予定の運動、栄養に関する健康状態が統合的に見える化できる新たなスマートフォンアプリを活用した健康づくりを進めます。
- ⑩ シーパspark内に、健康増進や未病予防対策に取り組める「新たな健康づくりの発信拠点」の構築を官民連携で進めます。
- ⑪ 市内事業者の協力による野菜たっぷりメニューの販売「ベジたベキャンペーン」やコミュニティ農園での野菜づくりや収穫体験、SDGsの視点を取り入れた調理実習などを通じて食の大切さを学ぶ「わくわく食育体験」を官民連携で取り組み、食育の普及・推進を図ります。
- ⑫ 6年目を迎える「あしゆびプロジェクト(あしゆびから健康なからだづくり)」の取り組みをより効果の高いものにするため、評価モデルを設計するなど取り組みを強化し、プロジェクトの充実を図ります。
- ⑬ 新型コロナ後遺症者及びワクチン接種後の副反応対策について、オンライン相談、コロナ・ワクチン後遺症改善プログラムをはじめ、ワクチン接種後の健康被害支援金など、市独自の支援策を継続して行います。